

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	地域のつながり推進課長 奈須 菊夫
市民-01 自治会・町内会等支援事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課 地域のつながり推進課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	市民自治
	施策の方針	市民自治

1 事業の目的

対象	自治会・町内会等
意図	地域住民が自ら問題を解決し、まちづくりに主体的に取り組めるようにするため。
効果	自治会・町内会等の主体的な活動によるまちづくりが行える。

2 平成27年度に実施した事業の概要

自治会・町内会が地区ごとに組織する連合会等の事業に対し、補助金を交付した。
自治会・町内会が所有する公会堂等の建築改良工事に対し、補助金を交付した。
地域住民の福祉の増進に貢献するとともに、当該団体の育成に尽力した自治町内会長及び役員を表彰した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数	147,650人	147,289人	事業の対象者数	146,978人	
決算値(千円)	30,536	26,176	当初予算(千円)	15,220	
国県支出金			国県支出金		
地方債			地方債		
その他	17,502	17,504	その他	5	
一般財源	13,034	8,672	一般財源	15,215	
人員配置数	2.4	2.5	人員配置数	2.5	
人件費(千円)	17,685	19,137	人件費(千円)	19,071	
総事業費(千円)	48,221	45,313	総事業費(千円)	34,291	
市民1人当りの経費(円)	272	256	市民1人当りの経費(円)	194	
対象者1人当りの経費(円)	327	308	対象者1人当りの経費(円)	233	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-負担導入済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-協働実施済 ○-1. 既に市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要である
		協働実施済の場合のパートナー 自治会・町内会等
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	☒ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 自治会・町内会等が所有する公会堂等は老朽化が進んでおり、建替えや修繕の要望は今後も増加傾向が見込まれる。コミュニティセンター助成制度の活用など財源の確保に努め、補助事業は継続していく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	自治会・町内会は防災・防犯、福祉など様々な分野で市民生活の向上に寄与しているため、今後も引き続き支援を続けていく必要がある。さらに地域コミュニティの活性化を進めるため、地域の自立した活動を支援していく。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	公会堂等の建築改良工事について、特に修繕等の要望が多くなっているが、予算の範囲で補助を行っているため、修繕等を翌年度以降に先送りにしてもらうことがある。 老朽化した公会堂等の建替えはあるが、新たな建設が無いために活動拠点の増加にはつながっていない。		
課題解決のために行った平成27年度の取組	公会堂新築(建替え)の工事の際に、(一財)自治総合センターのコミュニティセンター助成事業を活用した。これに対応する財源が確保できたため、先送りしていた修繕等の補助が実施できた。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決	
未解決の課題、新たな課題とその理由	老朽化した公会堂等の建替えはあるが、新たな建設が無いために活動拠点の増加にはつながっていない。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	公会堂等建築改良工事補助割合及び上限額(円)								
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市				
他市実績	50%	50%	50%	60%	補助制度なし				
	10,000,000	10,000,000	12,000,000	10,000,000					

比較事項	公会堂等建築改良工事件数(新築・建替え)								
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市				
他市実績	1件	1件(増築7件)	2件	0件					
	コミュニティセンター助成活用								

比較事項	公会堂等建築改良工事件数(修繕・増改築)								
団体名	鎌倉市	平塚市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市				
他市実績	14件	17件	4件	5件					

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	公会堂等の建築改良工事については、補助割合及び上限額において近隣市と概ね均衡がとれている。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	自治会・町内会加入率					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
自治会・町内会は、地域コミュニティの基礎的団体で支援の主たる対象であるため。	目標値	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%		85.0%	85.0%		
	実績値	83.2%	83.1%							
	達成率	97.9%	97.8%							

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	自治会・町内会は防災・防犯、福祉など様々な分野で市民生活の向上に寄与しているため、加入率が高いほど地域の合意形成が図れるため、より一層加入率を高める必要がある。
-----------------------	--

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☒ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--